

# 渡島・檜山地方の気象

平成25年夏（6～8月）のまとめ（2013年）

函館海洋気象台

平成25年9月30日

## ◎ 平成25年夏（6～8月）の天候 「高温・多雨・多照」

### 【気温】

3か月の平均気温は18.4～21.0℃で、平年差は+0.7～+1.4℃となり、すべての観測点で平年より高く、特に奥尻町稲穂・江差では平年よりかなり高かった。

### 【降水量】

3か月の降水量合計は297.0～695.0mmで、平年比は80～182%となり、函館市川汲では平年より少なく、北斗・函館市美原・木古内・福島町千軒・奥尻町稲穂・乙部町潮見では平年並で、そのほかの観測点では平年より多く、特に八雲町八雲・八雲町熊石では平年よりかなり多かった。

### 【日照時間】

3か月の日照時間合計は394.9～550.3時間で、平年比100～123%となり、長万部・八雲町八雲・函館市川汲・木古内・奥尻町奥尻では平年並で、そのほかの観測点では平年より多かった。

## ◎ 月ごとの概況

### 【6月】「高温・少雨・多照」

この期間の天気は、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、中旬は気圧の谷の影響で雨の降る日があった。

平均気温は平年並～平年より高く、降水量は平年並～平年より少なく、日照時間は平年並～平年より多かった。

### 【7月】「高温・少雨・並照」

この期間の天気は、前線や気圧の谷の影響で雨の降る日があったが、中旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

平均気温は平年並～平年より高く、降水量は平年並～平年より少なく、日照時間は平年並～平年より少なかった。

### 【8月】「高温・多雨・並照」

この期間の天気は、上旬の終わり頃から前線や気圧の谷の影響により、暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安となり激しい雨や長雨をもたらした。

平均気温は平年並～平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は一部を除いて平年並～平年より多かった。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）における  
（平成 25 年 6～8 月）の各種資料

○ 気候表

	気温		降水量		日照時間	
	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (h)	平年比 (%)
函 館	20.4	+1.3 (高い)	327.0	97 (平年並)	516.7	113 (多い)
江 差	21.0	+1.4 (かなり高い)	472.5	131 (多い)	520.1	109 (多い)

(注)：表中平年比（差）の括弧付の値は階級を示す。

○ 極値・順位更新表（統計開始以来 3 位までの記録）

期間	要素	順位	地点	本年		平年差(比)		これまでの1位(年)		統計開始年
6 月	月間日照時間 (多い)	3	江差	240.8	h	142	%	257.5	(1982)	1941
8 月	月降水量 (多い)	3	江差	359.0	mm	221	%	447.5	(1995)	1941
6-8 月	3か月の平均 気温 (高い)	3	江差	21.0	°C	+1.4	°C	21.5	(2010)	1941

○ 夏日、真夏日、不照、降水、霧及び雷の各日数

	夏日日数			真夏日日数			不照日数			降水日数			霧日数			雷日数		
	本年	平年 差	昨年	本年	平年 差	昨年	本年	平年 差	昨年	本年	平年 差	昨年	本年	平年 差	昨年	本年	平年 差	昨年
函館	47	+15	43	3	0	13	11	-8	11	21	-4	17	5	-1	6	3	-1	2
江差	47	+19	38	0	-2	6	8	-8	7	26	0	22	3	×	4			

(注)：降水日数とは、日降水量が 1 mm 以上の日数。

：各地点の平年差は、平年値（小数第 1 位）を四捨五入した整数値と本年との差。

：江差の霧日数は、視程計（現象判別付）による大気現象観測から統計した。

：×は平年値なし。

◎ 異常気象および気象災害発生状況

<p>8月8-9日 【渡島地方】 浸水害 土石流害</p>	<p>8日から9日にかけて日本海の低気圧の接近に伴い、暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定になっていた。 松前町、長万部町、八雲町、福島町で住家等の床上床下浸水。福島町、松前町、八雲町では、土砂崩れによる国道の通行止め。そのほか、落石や土砂崩れの恐れによる、道道の通行止めが多数発生した。公共機関では、JRが八雲-山越間で線路下の土砂が流出し、55本が運休した。</p>
<p>8月8-9日 【檜山地方】 浸水害</p>	<p>8日から9日にかけて日本海の低気圧の接近に伴い、暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定になっていた。 今金町で住家の床下浸水。土砂崩れや恐れのため、国道の通行止め。今金町、せたな町の町道では、30箇所の被害。道道も5路線7箇所通行止め。公共交通機関では、JRが10本運休。そのほか、せたな町で農地の冠水や流出により約7haの被害があった。</p>
<p>8月17-18日 【渡島地方】 強雨害 土石流害</p>	<p>16日から19日にかけて、前線を伴った低気圧の接近により、暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定になり、各地に猛烈な雨をもたらした。 八雲町、森町で住家等の床上床下浸水。八雲町、七飯町で町道の法面崩壊や砂利の流出による被害が複数発生。公共交通機関では、JRが八雲-山越間で線路下の土砂が流出、貨物車の一部と機関車が脱線、このため41本が運休。避難勧告：森町18日13:00から21:15、八雲町18日14:00から17:00。</p>
<p>8月18日 【檜山地方】 浸水害</p>	<p>16日から19日にかけて、前線を伴った低気圧の接近により、暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定になり、各地に猛烈な雨をもたらした。 江差町、乙部町、厚沢部町で住家の床上床下浸水多数発生。厚沢部町、江差町、乙部町、せたな町で、道路や河川、公園などで多数の土木被害をもたらした。農業被害は、江差、厚沢部町、乙部町で農地の冠水など182ha、農業用施設なども136箇所被害があった。そのほか乙部町や厚沢部町で林業被害38箇所、水道被害として、1,000戸以上が断水した。</p>
<p>8月23日 【渡島地方】 浸水害</p>	<p>日本海の低気圧の接近に伴い、大気の状態が非常に不安定になり、大雨をもたらした。 福島町：住家・非住家の床下浸水各1棟。知内町：避難勧告18:30-23:00(49名避難)。</p>
<p>8月23日 【檜山地方】 山がけ崩れ害</p>	<p>日本海の低気圧の接近に伴い、大気の状態が非常に不安定になり、各地に大雨をもたらした。 江差町：陣屋町で民家の裏山の土砂流出し、住家一部損壊1棟。公共交通機関では、JRが江差から木古内間が大雨により不通となり、7本が運休した。</p>

◎ 気象経過図（平成25年夏）

地上気象 気象経過図：2013年06月01日-2013年08月31日

江差

函館

